

..... 編集後記

◆ 地質調査総合センターでは、1997年以来毎年日本地質学会と一緒に地質情報展を主催しております。今月号は、昨年9月に岡山で開催された地質情報展の特集記事10編と一般記事4編、さらに書評2編と、盛りだくさんの話題です。子供達は夏休みの最中でしょうから、情報展のネタを使って一緒に楽しんだり、家族サービスをするのは如何でしょう。

◆ 全体の総括として吉田氏から開催報告をしていただきました。様々なアンケート結果の紹介もあり、どのようなコメントかは大変興味深いものです。これは開催側の反省の種と同時に、大きな励みとなります。なお、吉田氏は現在研究所内の配置換えで当センターから異動しており、彼の情報展の報告も今回が最後となります。本誌の編集委員会事務局の前任者でもあり、そのご尽力に感謝申し上げます。

◆ それぞれのイベント紹介では、長氏ほかが瀬戸内の花崗岩を来場者にわかりやすく興味を持たせて展示紹介した工夫などを紹介しています。4つのテーマが詳細に記述されていますので、あたかも会場で説明を受けているような感覚です。体験コーナーでは、子供達で大盛況であった「石を割ってみよう!」コーナーの紹介を工藤氏ほか、瀬戸内海の魚介類の展示紹介を谷本・湯浅両氏がして下さいました。普段石ばかり見ている地質屋さんにとっては、海の生き物は子供達以上に興味深いことでしょう。

◆ 小麦粉を使用した溶岩で火山を作る「キッチン火山実験」コーナーの様子を西来氏ほかで紹介していますが、夏休みですし、レシピもありますので、自宅でも実験してみるの如何でしょう。また、新たに作成した7題の地学クイズの紹介を坂野氏が、お隣の島根

県の浜の砂を使用した鳴り砂の実験コーナーの紹介を兼子氏ほかして下さいました。これらの体験から、地学や環境保全にまで関心を持っていただけると良いですね。

◆ 情報展の目玉の一つとなっている「化石レプリカ作り」の紹介を、中島氏ほかして下さいました。最大個数の作成数であったことは来場者とスタッフの努力の賜で、そのご苦労話をお読み下さい。澤田・森尻両氏は地元の岡山平野の成り立ちを水路実験で紹介したことを報告しています。

◆ 中島氏ほかは、県内や香川県の研究機関・企業との連携について詳細に報告しています。多くの高校生も熱心に参加していたそうで、会場では講演会のほかに演奏会もあったというのも驚きです。

◆ さて、日本ジオパーク委員会事務局の濱崎氏からは、情報展と時期を同じくして開催されたジオパークに関するワークショップの紹介です。国内の3地域が世界ジオパークに認定されましたが、より多くのジオパークの誕生や、そのプロセスを介した経済・環境・教育等への波及効果が期待されます。

◆ 須藤氏による「砂と砂浜の地域誌」では、今回は情報展でも使用した島根の鳴り砂の浜、琴ヶ浜を通る石見東部の旅です。また、高橋氏は仙台市近傍の地質案内をしており、記事を片手に休日にコース巡りをするの如何でしょう。斎藤氏はこれまでになかった地質図の利用法を紹介して下さいました。最後は、加藤GSJ代表と小泉氏による書評です。

◆ 今年の地質情報展は、9月18-19日に富山で開催されます。盛りだくさんの展示・体験コーナーを準備中ですので、ご期待下さい。(金井 豊)

地質ニュース編集委員会

委員長：金井 豊

事務局委員：宮内 涉

委員：重松紀生・杉原光彦・中嶋 健・森尻理恵・七山 太・酒井 彰・高橋裕平

連絡先：地質調査総合センター

地質ニュース編集委員会事務局

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3754 Fax. 029-861-3746

E-mail: g-news@m.aist.go.jp

地質ニュース	第672号	2010年	8月号
	定価 ¥785 (本体価格 ¥748) 千実費		
2010年8月1日	発行		
編集	産業技術総合研究所		
発行人	株式会社 実業公報社		
	代表者 林 光生		
発行所	株式会社 実業公報社		
	東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073		
	Tel. (03) 3265-0951 Fax. (03) 3265-0952		
	http://www.jitsugyo-koho.co.jp		
	E-mail: jk@jitsugyo-koho.co.jp		
	振替口座 00110-6-32466		
	麹町局私書箱第21号		

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。

●地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

© 2010 Geological Survey of Japan